事業番号	15　10　01

事業改善シート（29年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	スポーツ環境整備管理事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課
		実施期間	S37 ～	E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp

しあわせ信州創造プラン（総合5か年計画）	
プロジェクト	
施策の総合的展開	7-3　生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 3　スポーツの振興

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○県営体育施設は、いずれの施設も建設から20年近く経過し、老朽化が進行していることから、改修が必要な箇所が増加している。 ○白馬ジャンプ競技場のラージヒルジャンプ台は本州で唯一の施設であり、国際大会や全国大会の開催、県内選手の練習等に活用されている。	29年度予算額	214,304 千円
		職員数	1.50 人
目指す姿	○県営体育施設の維持管理を適切に行いつつ、施設の老朽化に伴う改修や競技規則に沿った改修を適時実施し、施設機能の維持・向上及び利用者の安全かつ快適な利用を図る。 ○長野冬季五輪の開催県として、県が所有するオリンピック施設（ラージヒル）を活用した「FISサマーグランプリジャンプ白馬大会」の開催を支援し、有形無形のオリンピック財産を継承するとともに、スキー競技の振興を図る。 （主な実施内容：県営体育施設維持管理、冬季国際大会経費補助、県立武道館建設、スポーツ推進審議会開催　など）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		27年度	28年度	29要求	29予算案
予算額	前年度繰越	224,231			
	当初予算	146,602	751,537	216,299	214,304
	補正予算		43,166		
	合計（A）	370,833	794,703	216,299	214,304
Aの財源	一般財源	311,739	308,707	126,496	147,501
	県　債	39,000	337,000	88,000	65,000
	国庫支出金				
	その他	20,094	148,996	1,803	1,803
決　算　額（B）		353,048			
概算人件費	職員数（人）	0.50	1.50	1.50	1.50
	概算人件費（C）	4,138	12,414	12,414	12,414
概算事業費（B（A）+C）		357,186	807,117	228,713	226,718

指標及びその達成状況

No	成果指標	27年度末	28年度末（見込）	29年度 目標値	29年度 成果	29年度 達成状況
①	FISサマーグランプリジャンプ白馬大会入場者数 ※上段　：晴天時 括弧書：荒天時	－ （4,240人）	12,000人 （　－　）	12,000人 （5,000人）		

成果指標設定理由	①県有施設の有効利用度とオリンピックレガシー継承の状況を把握するため、「FISサマーグランプリジャンプ白馬大会」の入場者数を成果指標に設定

指摘事項等への対応	指 摘 事 項	対　応
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	白馬ジャンプ競技場改修事業について、事業の優先度を考慮し、工事費の一部を減額 県立武道館建設事業について、事業の進捗を考慮し、設計費の一部を増額

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度　実施内容（予定）	職員数（人）	28年度（当初）	29年度（要求）	29年度（予算案）
1		スポーツ推進審議会開催事業費	スポーツの推進に関する重要事項の調査審議	0.10	329	550	550
2		冬季国際大会経費補助事業費	「FISサマーグランプリジャンプ白馬大会」開催経費に対する補助を実施する	0.10	7,000	7,000	7,000
3		県営体育施設管理運営事業費	長野・上田野球場及び白馬ジャンプ競技場の維持管理及び改修工事を実施する	0.30	744,208	72,866	69,554
4		県立武道館建設事業費	本県の武道振興の拠点となる県立武道館を建設するため、設計・調査を実施する	1.00		135,883	137,200
			合計	1.50	751,537	216,299	214,304